

## 「中国語教員研修・養成プログラム」募集要項

### プログラム概要

本プログラムは、日本における実践的な中国語教育のさらなる普及と向上に向けて、中国語教育に関わる諸問題を専門的な立場から検討することを通して、中国語教育に携わる方々、あるいはそれを目指している方々のブラッシュアップを図ることを目的に実施いたします。

受講者が中国語・中国語教育に関する基礎的知識を習得することはもとより、講師との質疑応答を通して、問題の所在を意識化し、現時点で説明可能なことと、なお最先端の研究でも明確になっていないことが多く存在することを体感し、中国語学習者にとってより魅力ある教育者となることを目指します。

開講期間：2009年11月8日(日)～2010年2月21日(日) 毎月2回、全8回

開講時間：(1)午前10時00分～12時00分、(2)午後13時30分～15時30分

対象者：現役の中国語教育者および中国語教育者を目指す教員、学生、一般社会人

会場：立命館孔子学院 講義室（立命館大学衣笠キャンパス アカデメイア立命21 2階）

定員：20名（先着順）

受講料：25,000円（税込）

### プログラム全体のスケジュール

本プログラムは、言葉を教えるということの意味と問題点を明確化し、学習者の立場に立って問題点を考えることを目指して、講義、演習、質疑応答の三部で構成しています。日中両国の中国語教育の現場で様々な問題に直面し、それぞれの立場で解決に努力している講師が担当いたします。

回	日程	プログラム	講師
1	11月8日(日)	オリエンテーション、中国語概説	中川正之 立命館大学教授
2	11月15日(日)	音声の日中対照とその指導法	朱春躍 神戸大学教授
3	12月6日(日)	日中対照 文法を中心として -	杉村博文 大阪大学教授
4	12月20日(日)	日中対照 語彙を中心として -	荒川清秀 愛知大学教授
5	1月10日(日)	CAL教育の実際	絹川浩敏 立命館大学准教授
6	1月24日(日)	体験的「中国語教師心得」論	宇野木洋 立命館大学教授
7	2月7日(日)	中国語教育の実際	胡士雲 四天王寺大学教授
8	2月21日(日)	テストング等	趙延風 立命館孔子学院副院長

講座の日程、講義内容は、事情により変更となる場合がございます。

## 申込み方法

- 1、「受講申込書」に必要事項をご記入の上、FAX、Eメールに添付、郵送にて、立命館孔子学院事務局までご提出下さい。

「受講申込書」は立命館孔子学院のホームページからダウンロードできます。

- 2、受講料（25,000円税込）を下記のいずれかの銀行口座へお振込み下さい。

**京都銀行 白梅町支店（普通）3681576**  
**口座名義 トクヒ)リツメイカンコウシガクイン**  
 (特定非営利活動法人立命館孔子学院)

**三井住友銀行 円町支店（普通）7265075**  
**口座名義 トクヒ)リツメイカンコウシガクイン**  
 (特定非営利活動法人立命館孔子学院)

お願い：

入金確認時間短縮のため、お振込み名義人は**講座申込者氏名**でお願いいたします。  
 振込手数料はお申込者負担となります。ご了承下さい。

「受講申込書」および受講料の入金を確認した後、「受講の案内」をお送りします。

新型インフルエンザや天変地異など、やむをえない事情により、講義を中止する場合がございます。その場合、お支払いいただいた受講料は、規定に基づきご指定の口座（ゆうちょ銀行以外の口座をご指定下さい）へ返金いたします。

- 3、お申込み締め切り：**2009年10月30日（金）**

締切日を過ぎても、定員に余裕があれば、お申込みを受け付ける場合がございます。

立命館孔子学院事務局（075-465-8426）まで、お問い合わせ下さい。

- 4、お申込み宛先：

立命館孔子学院事務局

〒603-8577 京都市北区等持院北町 56 - 1 立命館大学 アカデミア立命 21

(国際平和ミュージアム2階)



### アクセス

- ・市バス 15・50・51・55・59 にて  
「立命館大学前」下車
- ・市バス 204・205 にて  
「わら天神」下車西へ徒歩 10分

FAX : 075-465-8429

E-mail に添付してお申込みの場合は、koza@st.ritsumeai.ac.jp までお送り下さい。

## 立命館孔子学院 2009 年度 中国語教員研修・養成プログラム 受講申込書

申込日	2009 年 月 日	受講料振込日	2009 年 月 日
フリガナ			性別 男・女
氏名			
現住所	〒		
	電話 ( ) -	携帯 ( ) -	
Email アドレス	今後の諸連絡については、ここに記入されたアドレスにお送りします。 記号のハイフン ( - ) とアンダースコア ( _ )、数字の 0 (ゼロ) と英字の o (オー) など紛らわしい文字がある場合、はっきりと識別できるようにご記入ください。  @		
携帯電話の Email アドレス	緊急のご連絡をお送りする場合があります。  @		
職業等	中国語教員 ( 大学 高等学校 その他 ) 大学生 大学院生 会社員 公務員 主婦 自営業 その他 ( )		
<p>語学学習歴： 語 年 ヶ月 ( 学習機関名： )</p> <p>語学教育歴： 無し 有り ( 語 ) 期間 ( 年 ヶ月 )</p> <p>語学の資格： 中国語検定 ( ) 級 HSK ( ) 級 日本語能力試験 ( ) 級 その他 ( )</p> <p><b>立命館孔子学院の受講歴</b> 立命館孔子学院の受講生として登録をしたことがある。</p> <p>受講講座名： _____ 期間： _____ 年 月 日から _____ 年 月 日</p> <p>登録したことがない。</p>			
<p><b>どのような方法でこの講座を知りましたか？</b></p> <p>孔子学院のパンフレット 孔子学院のホームページ 孔子学院のメールマガジン 孔子学院事務局からの案内 掲示板 友達から 先生から 学内のちらし セカンドアカデミーのホームページ ( ) 新聞 その他 ( )</p>			
<p><b>立命館学園関係者はこちらにもご記入下さい。</b></p> <p>在学生： _____ 学部 _____ 専攻・コース _____ 回生 卒業生： _____ 学部 _____ 専攻・コース _____ 年卒業 教職員：所属部署 _____</p>			

記載された個人情報、事務局からの連絡の目的において使用します

事務局使用欄

--	--	--	--